

## まとめ・共有

各グループで検討した結果について最後に共有しました。以下では各エリアの方向性についての共有を抜粋しています。

### ◀ 土庄港周辺 検討グループ ▶



- 住民目線では愛着のある町、人が帰ってくるようにしたい。
- 土庄港～迷路のまち～エンジェルロードへの「海からの導線」をつくる。
- 観光客目線で、ワクワクできる仕掛けや演出を行う。(今は歩いて楽しくない。楽しくすることが必要。)
- 観光案内・観光対応の充実。(入口としての機能強化)
- 観光コンシェルジュの配置や飲食・宿泊機能等の一体的な整備を図ることが必要。(県の公園も含む)
- 地域イベント等との連動、マルシェの実施等も良い。(理想は毎週末)
- アート作品に加え、アーティストの工房を設置して、体験・交流・見学なども同時に行える環境を整える。

### ◀ 迷路のまち周辺 検討グループ ▶



- 若い商人やアーティスト、飲食業の人等、挑戦する人を応援するまちにしたい。面白い空間をつくって、たくさん外からの人を呼び込みたい。
- 今はどこからどこまでが迷路のまちかがわかりにくいいため、エリアを明確化する。
- 目玉となる拠点、ゆっくりできる場所をエリア内につくる。水と親しめる環境も必要。
- 総じて案内・ガイドをしっかりしながら、コンセプト等を明確に伝えていく工夫は必要。
- 名物おじさんやおばあちゃん等がいてほしい。高齢者も人材として活躍してもらいたい。
- 中央高校の高校生、域学連携にきている大学生と一緒に企画等をつくりあげていくのもよい。

### ◀ エンジェルロード周辺 検討グループ ▶



- 年間 20 万人のお客を 100 万人にしよう
- 小豆島に年間 100 万人来る人がここに 100 万人くるイメージ。
- 目玉となる代表的な環境にしていく。
- 満潮時に目玉をつくらないと、いけない。
- エンジェルロードの全国的な知名度をもっとあげる。

2025年12月  
No. 02

土庄町役場 建設課  
TEL:0879-62-7006  
FAX:0879-62-2400

# 土庄町まちなかエリア プラットフォーム検討会ニュース



## 第2回では、対象エリアにおいて、必要となる取組やアイデア、人材等について検討しました!

土庄町は現在、少子高齢化、人口減少、経済の停滞、厳しい財政状況などに直面するとともに、旧庁舎をはじめとした公有地の利活用や災害対策等を含めた持続可能なまちづくりの実現を求められています。

そのような中で、令和6年3月に策定した「立地適正化計画」内で示した方向性やエリアを中心に、土庄港からエンジェルロードまでの区間の活性化に向けて取り組んでおり、今年度は、国の官民連携まちなか再生推進事業を通じて、官民を問わない様々な主体が将来像を共有し、その実現にむけて取り組む方向性や指針の検討及びプラットフォーム（活動組織）の構築に向けて検討を行っています。

令和7年12月23日に第2回目の土庄町まちなかエリアプラットフォーム検討会議を開催しました。各分野から10名の方に参加いただき、今回は、『対象エリアにおける取組やアイデアについて』をテーマに検討を行いました。

検討するにあたって、対象エリアを3つのエリア（土庄港周辺/迷路のまち周辺/エンジェルロード周辺）に区切り、グループ分けをして、それぞれのエリアにフォーカスして検討を行いました。

### 検討会等の予定

第1回 事業概要の説明  
事業概要等について (9月10日)

第2回 対象エリアにおける取組やアイデアについて  
対象エリアの今後の方向性や取組等を検討 (12月23日)

第3回 アイデアの実現や検討体制について  
2回目の結果を踏まえて、具体策や体制を検討 (1月13日)

第4回 対象エリアの目指す方向性や取組の確認  
対象エリアの方向性や取組の案について確認 (3月予定)

プラットフォーム構築や未来ビジョン(案)に反映

### ～次第～

1. 開会・あいさつ
2. 事業の説明(振り返り)と本日の趣旨
3. 意見交換(ワークショップ形式)
  - ・対象エリアの方向性について
  - ・対象エリアにおいて必要だと思う取組、実施したい取組等について
  - ・取組を実行するにあたって必要となる人材
6. 閉会

次回

### 第3回 アイデアの実現や検討体制について

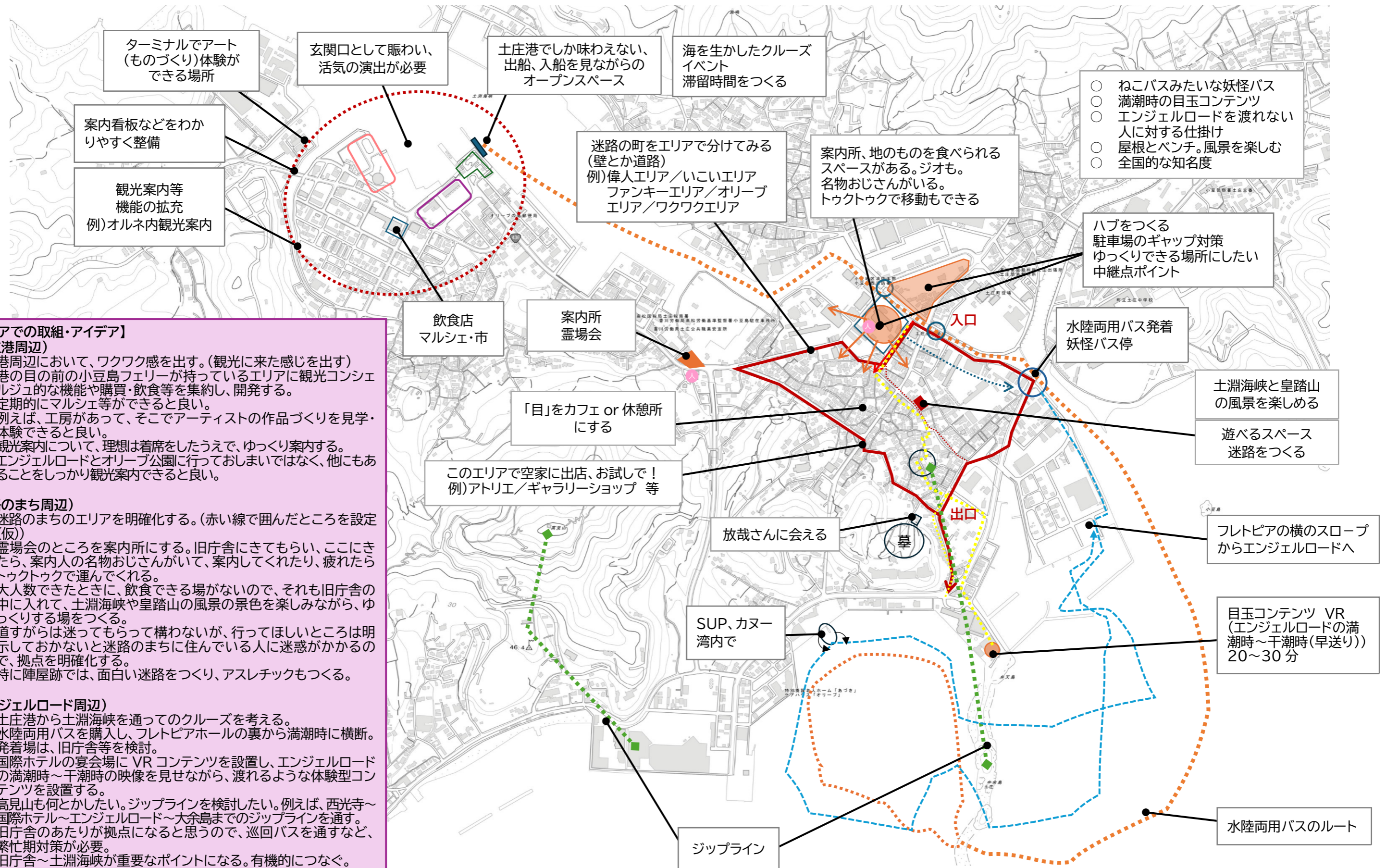
日時：1月13日

第2回の検討結果を踏まえて、取組の具体化を検討

## 2回目は「対象エリアの方向性と必要だと思う取組・アイデア等」をテーマに、検討を行いました！

### 対象エリアにおいて必要だと思う取組、実施したい取組・アイデア等

対象エリアにおいて、今後のまちづくりにおいて、必要だと思う取組やアイデアなどについて3つのグループ（土庄港周辺／迷路のまち周辺／エンジェルロード周辺）に分かれて検討しました。以下、では、3つのグループの意見を1つにまとめた資料になります。



#### 【エリアでの取組・アイデア】 (土庄港周辺)

- 港周辺において、ワクワク感を出す。(観光に来た感じを出す)
- 港の目の前の小豆島フェリーが持っているエリアに観光コンシェルジュ的な機能や購買・飲食等を集約し、開発する。
- 定期的にマルシェ等ができるとうい。
- 例えば、工房があって、そこでアーティストの作品づくりを見学・体験できると良い。
- 観光案内について、理想は着席をしたうえで、ゆっくり案内する。
- エンジェルロードとオリーブ公園に行っておしまいではなく、他にもあることをしっかり観光案内できると良い。

#### (迷路のまち周辺)

- 迷路のまちのエリアを明確化する。(赤い線で囲んだところを設定(仮))
- 霊場会のところを案内所にする。旧庁舎にきてもらい、ここにきたら、案内人の名物おじさんがいて、案内してくれたり、疲れたらトウクトゥクで運んでくれる。
- 大人数できたときに、飲食できる場がないので、それも旧庁舎の中に入れて、土淵海峡や皇踏山の風景の景色を楽しみながら、ゆっくりする場をつくる。
- 道すがらは迷って構わないが、行ってほしいところは明示しておかないと迷路のまちに住んでいる人に迷惑がかかるので、拠点を明確化する。
- 特に陣屋跡では、面白い迷路をつくり、アスレチックもつくる。

#### (エンジェルロード周辺)

- 土庄港から土淵海峡を通ってのクルーズを考える。
- 水陸両用バスを購入し、フレトピアの裏から満潮時に横断。発着場は、旧庁舎等を検討。
- 国際ホテルの宴会場にVRコンテンツを設置し、エンジェルロードの満潮時～干潮時の映像を見せながら、渡れるような体験型コンテンツを設置する。
- 高見山も何とかしたい。ジップラインを検討したい。例えば、西光寺～国際ホテル～エンジェルロード～大余島までのジップラインを通す。
- 旧庁舎のあたりが拠点になると思うので、巡回バスを通すなど、繁忙期対策が必要。
- 旧庁舎～土淵海峡が重要なポイントになる。有機的につなぐ。